

令和3年11月吉日

早島町自治会長 様

青少年育成推進協議会	会長	寺山 俊雄
早島町教育委員会	教育長	徳山 順子
早島小学校	校長	藤本真砂子
早島中学校	校長	小野 秀明

子ども110番連絡所の新規設置について（お願い）

平素は、早島町の青少年健全育成と学校教育活動に、多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。子どもたちの健やかな成長に向けて、挨拶運動や温かい声かけなど、皆様方の日頃のサポートに心より感謝を申し上げます。

さて、協働・協学・協育の町づくりに向けて、通学路や子どもたちが活動する周辺の地域住民の皆様にご協力をいただき、子どもたちを犯罪被害から守る「子ども110番連絡所」を町内に設置してまいりました。長い間、連絡所の設置にご協力いただいた事業所や町民の皆様にご感謝を申し上げますとともに、今後も引き続きご協力いただけますようお願いしているところでございます。

近年の早島町の子どもたちを取り巻く環境の変化により、子どもたちの安全・安心を見守っていただく「見守り隊」や「子ども110番連絡所」の重要性は更に高まっており、「子ども110番連絡所」の設置が少ない地域では、子どもたちや保護者から設置を望む声が多く寄せられております。

そこで、誠に勝手なお願いではございますが、地域で子どもたちを見守り育てるために、「子ども110番連絡所」の設置にご協力いただければと思います。同封しております「子ども110番の家対応マニュアル（改訂版）」をご覧ください、近隣にご協力いただける方がおられましたら、担当までご紹介いただければ幸いです。ご協力の程よろしく願いいたします。

【問い合わせ先】

早島町教育委員会 生涯学習課（村木 ・ 藤本）

TEL 086-482-1511、FAX 086-482-4802

子ども１１０番 ご紹介カード

早島町教育委員会

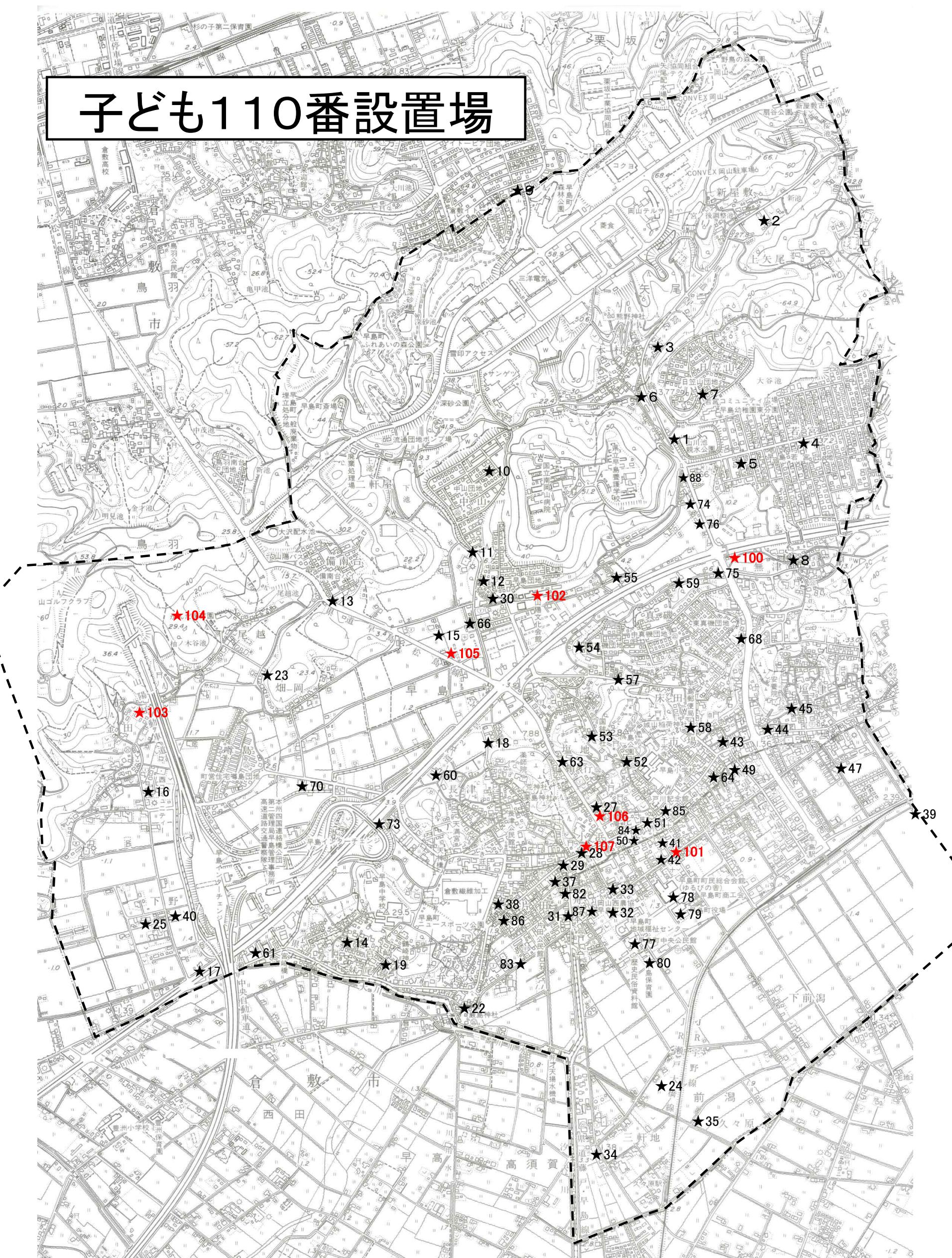
子どもたちの登下校等を見守り、安全に過ごせる町づくりを目指して、
子ども１１０番の家へのご協力をよろしくお願いいたします。

地区名	住所	氏名	電話番号

【提出先】 早島町教育委員会 生涯学習課

FAX送信 ０８６－４８２－４８０２

子ども110番設置場



子ども110番の家対応マニュアル（改訂版）

～子どもを犯罪から守るために～



岡山県マスコット 「ももっち」と「うらっち」

岡山県
岡山県警察本部
岡山県教育委員会

「子ども110番の家」の皆様へ

登下校時等に子どもを狙った犯罪や不審者遭遇事案が後を絶たないなど、全国的に子どもの安全確保が重要な課題となっており、様々な対策が講じられてきています。

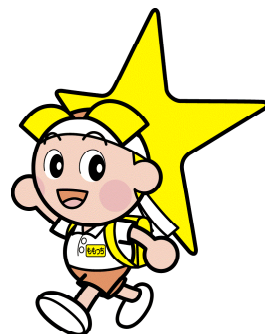
「子ども110番の家」は、不審者（犯人）から逃れるために駆け込んできた子どもの安全を確保する場所として定着し、地域に安全・安心をもたらしています。

県内におきましても、これまでに多くの「子ども110番の家」が設置されており、子どもの安全確保のためにご活躍いただいております関係者の皆様に感謝申し上げます。

このマニュアルは「子ども110番の家」としての活動の参考にしていただくため、これまでの内容を見直し、再編集したものです。皆様の活動にお役立ていただければと思います。

子どもを犯罪から守り、明るく伸び伸びと育てるために、今後ともご協力をよろしくお願いします。

2014年1月



岡山県マスコット ももっち

※ この冊子についてのお問い合わせは、岡山県県民生活部くらし安全安心課
安全安心まちづくり班までお願いします。電話番号（086）226-7259

岡山県警察「ももくん・ももかちゃん安心メール」の登録を！

県警察では、地域ぐるみによる子ども・女性安全対策、交通安全対策にお役立ていただくため、携帯電話等への「不審者情報」「交通安全情報」等のメール配信を行っています。

お手持ちの携帯電話から momo@psmail.jp 宛てに空メールを送信し、自動で返信される説明画面を閲覧後、必要項目をチェックすれば登録が完了します。



※「QRコード」は、
(株)デンソーウェーブ
の登録商標です。

岡山県警マスコット

『ももくん』



第1 「子ども110番の家」の役割

1 「子ども110番の家」の必要性

都市化の進展や住民意識の変化に伴って、住民同士の連帯意識や「きずな」が低下し、地域の犯罪抑止機能が弱体化しています。

子どもを犯罪から守るためには、警察はもとより、地域住民・学校関係者・関係機関・団体や地域ボランティア等が相互に連帯し、子どもが安全に暮らせる環境づくりを推進して、地域社会で子どもを守ることが必要になっています。

●こども110番の家●



2 「子ども110番の家」とは

子どもが登下校時などに「不審者からの声かけ、ちかん、つきまとい行為」等の被害を受けて身の危険を感じたときに、避難場所として駆け込み、住民が一時的に保護して警察に通報（110番）するしくみをいいます。危険とは、犯罪に限らず、いじめや自然災害による被害も含みます。

例えば、

- 変な人に声をかけられた
- 車にむりやり乗せられそうになった
- 知らない人に後をつけられた
- ちかん被害にあった
- 強盗被害にあった
- 交通事故にあった

などという場合で、

- その犯人（又は不審者）から逃れるための施設（一時避難所）

近くに公衆電話等がなく直ちに110番通報ができない時に、110番通報を行える施設（110番通報施設）

として、お願いするものです。

したがって「子ども110番の家」をお願いする施設の方に対しては、

- 一時避難してきた人を警察官が到着するまでの間、同所で待たせていただく
- 警察への110番通報のために、電話を貸していただく、又はその人にかわって110番通報していただく

ということをお願いするものであり、それ以上の負担を求めるものではありません。

第2 子どもが避難しやすい環境づくり

1 子どもとのコミュニケーションを大切にしましょう。

子どもは「知らない家には駆け込みにくい」という気持ちをもっています。このような気持ちは子どもに限らず、大人も同じです。

登下校などで子どもの姿を見かけたら「おはよう」「こんにちは」「気をつけて帰るんだよ」などと気軽に声をかけてください。

登下校の時間帯にあわせた庭木や花の水やりなども、子どもとのコミュニケーションづくりに有効です。

子どもと顔を合わすごとに、コミュニケーションが増してくるはずです。

防犯標語「いかのおすし」

子どもの多くは小学校等で防犯標語の「いかのおすし」を学習しています。機会があれば、「いかのおすし」を話題にしてみてください。

いか	・・・ いかない	(知らない人にはついて行かない)
の	・・・ のらない	(知らない人の車にはのらない)
お	・・・ おおごえをだす	(「助けて」と大声を出す)
す	・・・ すぐ逃げる	(連れて行かれそうになったら、すぐ逃げる)
し	・・・ しらせる	(近くの人に何があったか知らせる)

2 表示の位置を適正に

「子ども110番の家」の表示位置は、子どもの目線にあるのが最適です。

表示が物の陰になっていないか、道路から見えやすいかなどを点検し、もし見えにくく、障害となるものがあれば取り除いてください。

3 玄関まわりの整理整頓を

危険に遭遇した子どもは恐怖感から逃れたい一心で駆け込んできます。玄関先に危険な物が放置されていないかよく点検してください。

また、登下校時間帯は、子どもが駆け込みやすいよう門扉を開けておくことも大切です。



第3 子どもが避難してきたとき

1 子どもを家に入れ、入口の鍵をかけてください。

不審者（犯人）に追いかけている可能性もありますので、可能な限り、早めに子どもを家に入れ話を聞いてください。

2 まず、自分が落ち着きましょう。

子どもが避難してきた場合に、話を聞く側の皆さんが慌てたり、興奮したりしていると、子どもは、ますます興奮してしまいます。

まずは、皆さんが落ち着いて、何があったのか子どもから話を聞いてください。

3 子どもを落ち着かせましょう。

避難してきた子どもは、危険な場面に遭遇し興奮しています。

子どもに「もう大丈夫だよ！すぐ110番してあげるから安心して！」などと優しい言葉をかけて落ち着かせてあげてください。

4 何があったのか、何をしてもらいたいのかを聞きましょう。

どうして避難してきたのか確認してください。

- 知らない人に声をかけられたり、つきまとわれたのか。
- ちかんの被害に遭ったのか。
- 病気で我慢できないのか。
- トイレや電話などを借りに来たのか。

子どもの話をよく聞いてあげましょう。

いずれの場合でも、警察や家族などがすぐに来ることを説明し、子どもを安心させてあげてください。



5 事件の疑いがある場合

◆ 子どもから聞く内容

子どもが、

- 知らない人に声をかけられた、つきまとわれた。
- 車に乗せられそうになった、追いかけられた。
- ちかんの被害に遭った。

などの事件の疑いがある場合は、すぐに110番通報してください。

子どもから聞く内容	
事 件 内 容	何があったか。
日 時 、 場 所	いつ、どこで（目標物は）
犯 人 の 特 徴 な ど	年齢、身長、体格、頭髪、顔の輪郭、服装、凶器の有無など
車 の 特 徴	車種、ナンバー、色
逃 走 方 向	犯人が逃げた方向
子どもの住所、名前	住所、名前、保護者の名前、学校、学年、連絡先

◆ 110番通報の要領

あせらず落ち着いて、警察官の質問に答えてください。

警察官があなたからお聞きする内容は、おおむね上記表のとおりです。警察官に「子ども110番の家」であることを伝え、あなたの住所、名前、電話番号を話してください。

場合によっては、110番の電話を子どもにかわってください。子どもから警察官が直接話を聞きます。

◆ 110番通報が終わったら

110番通報が終わっても警察官が到着するまで、子どもを待たせてください。



6 事件の疑いがない場合

◆ 思いやりを持って子どもに接しましょう。

子どもが、

- 水を飲ませて
- トイレを貸して
- お腹が痛い
- 自転車がパンクした
- 電話を貸して
- 雨が降り出してやむまで待たせて、雷が怖い

と駆け込んでくるなど、事件でない場合でも思いやりを持って接してください。

◆ 具体的な行動をとりましょう。

状況によっては、

- 一時的に場所を提供
- 保護者、学校などへの連絡
- 救急車の手配

など具体的に行動し、問題を解決してあげましょう。

第4 不審者（犯人）が子どもを追いかけてきたとき

- 1 子どもを家に入れ、入口の鍵をかけてください。
- 2 自分で犯人に立ち向かおうとせずに、すぐに110番通報してください。
- 3 子どもと自分の身体の安全を第一に、大声で助けを求めたり、安全な場所に避難したりするなどの行動をとってください。

子どもと5つの約束

子どもの安全のために、子どもと「5つの約束」をしましょう。

- 1 知らない人にはついていきません。
- 2 だれかにつれていかれそうになったら「たすけて」と大声で助けをよびます。
- 3 一人では遊びません。
- 4 遊びに行く時はどこで、だれと遊ぶか、家の人にってから出かけます。
- 5 友だちが知らない人につれていかれそうになったら大声で助けを呼びます。

環境の再点検をお願いします

子どもが、犯罪や事故に遭いやすそうな場所はありませんか。地域の環境を再点検してみましょう。

また、**地域安全マップ**などを作成して活用しましょう。

子どもを犯罪の被害から守るためには、子ども自身の犯罪の危険を予測する能力、危険を回避する能力を育成していくことが重要です。そのために有効な手法が「**地域安全マップづくり**」です。

犯罪の起こりやすい危険な場所は、「**入りやすい場所**」と「**見えにくい場所**」です。

- 子どもは、
- ① 事前学習でどういう場所が危ないかを学びます。
 - ② 地域に出て「入りやすい場所」、「見えにくい場所」を自分の目で探します。(フィールドワーク)
 - ③ フィールドワークで見つけた「入りやすい場所」、「見えにくい場所」を地図で表現します。
 - ④ 地図にまとめた内容やマップづくりの感想等を発表します。

この4つの活動を「体験」することで、子どもは「**景色を読み解く力**」を身に付け、危険を予測したり、回避したりできるようになります。

※ 地域安全マップについてのお問い合わせは、下記までお願いします。

岡山県県民生活部くらし安全安心課 安全安心まちづくり班

電話番号 (086) 226-7259

地域の皆さんで

- 公園・空き地・人通りの少ない路地などで、一人遊びをしている子どもを見かけたときは、声をかけて注意しましょう。
- 子どもの様子をうかがう、車から子どもに話しかけるなどの不審者を見かけたら、子どもを守り、すぐ警察に連絡しましょう。
- 車などで子どもが連れ去られそうになっているのを見かけたら、大声で近くの人に知らせ、110番通報をしてください。



留意事項

- 子どものプライバシーを尊重し、秘密を守りましょう。たとえ顔見知りの子でも、対応した内容を安易に近所の人に話すことのないよう注意してください。

110番通報マニュアル

『助けを求める子ども』が来た場合は、次の事項を110番通報してください。

- 1 「子ども110番の家」の〇〇〇〇です。
110番の依頼を受けたので連絡します。

- 2 ◎所在地（大きな目標） 〇〇市△△町□□番地 ××方

- 3 ◎電話番号、通報者の氏名
電話 氏名

※ 1～3の、あらかじめ記入できる箇所は記入しておいてください。

次からの事項は、助けを求めてきた子どもに電話をかわってください。
もし、子どもが直接話せない状態のときは、あなたがかわって話をしてください。

- 4 ◎いつ、何があったのか、場所は

- 5 ◎負傷の有無、被害の程度

- 6 ◎犯人（不審者）の逃走手段（徒歩、車等）、方向

- 7 ◎犯人（不審者）の人相、着衣、持ち物等

- 8 ◎助けを求めてきた子どもの氏名、年齢、連絡先等
（本人が話したがらない場合は無理に聞かないでください。
伺った警察官が聞きます。）

お願い

1. 警察官が到着するまで安全な場所で待たせてください。
2. 警察官の到着前に子どもが帰宅を希望する場合は、警察の指示を受けてください。

1 1 0 番通報内容チェック表

項 目	内 容
1 何があったのか	☐ 声をかけられた ☐ 車にむりやり乗せられそうになった ☐ 知らない人に後をつけられた ☐ ちかんの被害にあった ☐ 強盗被害にあった ☐ 交通事故にあった ☐ その他
2 いつごろのこと	☐ 平成 年 月 日 午前・午後 時 分ころ ☐ 今から 分くらい前
3 場所はどこか	☐ その場所の町名は ☐ その場所の近くに目標となる建物などは
4 どんな状況だったか	☐ 誰か怪我をした者はいるか（いる・いない） ☐ 連れ去られたりした者はいるか（いる・いない） ☐ 救急車の必要があるか（ある・なし）
5 犯人（不審者）の特徴、車両について	犯人（不審者）の特徴 ☐ 犯人（不審者）の人員は 男 人 女 人 ☐ 身長は センチくらい ☐ 体格は ☐ やせ形 ☐ 中肉 ☐ 小太り ☐ 肥満型 ☐ ガッチリ型 ☐ 年齢は ☐ 若い ☐ 中年 ☐ 高齢者 ☐ ヘアスタイルは ☐ 服装は ☐ 上着 ☐ ズボン ☐ 履物 ☐ めがね ☐ その他 車両か徒歩か ☐ 歩いていた ☐ 車両を使用していた ☐ 四輪車 ☐ 乗用車 ☐ ライトバン ☐ ワゴン車 ☐ トラック ☐ その他 ☐ 車両の特徴 ☐ 車体色 ☐ ナンバー ☐ 車名 ☐ その他の特徴 ☐ 二輪車 ☐ 大きなオートバイ ☐ スクータータイプのオートバイ ☐ スーパーカブタイプのオートバイ ☐ その他 ☐ 自転車 ☐ その他 逃走方向は ☐ 車両で ☐ 歩いて 方向に逃げた